

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	亀岡の未来を照らす保津川周辺環境と共生のまちづくりプロジェクト		実施期間	H25年度～H27年度	テーマ	地域振興	新規・継続の区分	新規	継続	
地域における現状、課題及び住民ニーズ	人口の減少や超高齢社会という大きな転換期を迎え、多くの社会的な課題に対応する必要性が高まっている。 京都府の進める大規模スポーツ施設の建設は、亀岡の新たな幕開けとなる一大プロジェクトであり、隣接する亀岡駅北土地区画整理事業との相乗効果で、経済・観光等の活性化、にぎわいの創出、京都府域の均衡ある発展に寄与するため、各種事業を推進する。									
プロジェクトの目的及び概要	アユモドキの保護をはじめとする環境対策を行うとともに、大規模スポーツ施設関連事業及びスポーツ振興を推進することで、青少年の健全育成や経済・観光の活性化、にぎわいの創出等を図ることで、京都府域の均衡ある発展を目指す。									
	総事業費（千円）	90,461	本年度事業費（千円）	80,720	交付金額（千円）	34,288				
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)										
事業分類	事業名	事業種別	事業概要				主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	アユモドキの保護増殖と環境調査事業	交付対象	国の天然記念物で希少野生動植物に指定されているアユモドキの保護増殖を推進する。				アユモドキ生息環境再生整備実験、実験結果に基づく生息環境の検討・検証業務等			
住民協働事業	生涯スポーツ振興事業	交付対象	市民応援バスツアー等のスポーツ振興事業を実施。				サンガ応援バスツアー 14回、参加者 577人			
	桂川高水敷土地利用事業（保津川かわまちづくり）	交付対象	桂川改修によって創設された、広大な河川空間の有効利用するための計画策定にあわせて、府・市及び市民と協働で事業に参画し、川を活かした新たなまちづくりを推進した。				保津川かわまちづくりに係る都市再生整備計画策定・右岸堤防においてベンチ設置（6基）と桜植え替え（13本）・河川空間の整備に向けた管理			
成果指標 ①	成果指標の目標数値	スポーツ教室参加者人数 1,700人（H25 1,626人）			成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）		スポーツ教室参加者人数 2,239人			
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	スタジアム周辺の整備に向けて、都市再生整備計画策定を実施した。また、広大な河川空間の有効利用を目的に、右岸堤防にベンチを設置し桜を植樹した。						
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）					（時期）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>経済・観光等の活性化、にぎわいの創出だけでなく、京都府域の均衡ある発展、アユモドキを含む環境保全、スポーツを通じた青少年の健全育成を推進した。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>広大な河川空間の有効利用についての計画を策定し、河川堤防のベンチ設置や桜の植樹を実施したことにより、これからの地域住民と協働で推進する川を生かしたまちづくりへと繋げることができた。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>国の天然記念物で希少野生動植物に指定されているアユモドキに係る各種実験・調査を実施することにより、アユモドキの保護増殖を推進した。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	セーフコミュニティ推進プロジェクト	実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	亀岡市は安全・安心のまちづくりを第一として、平成20年3月に日本初のWHOセーフコミュニティ（SC）認証を取得し、モデル地区をはじめ多くの地域住民と協働により、誰もがこころの通い合う安全で安心して暮らせるまちづくりを進めている。						
プロジェクトの目的及び概要	子どもや高齢者の事故やけが、また虐待や自殺、さらには犯罪や自然災害など、地域社会における安全・安心をめぐるさまざまな課題や不安に関わって、これらの問題を原因とする不慮の事故の予防や犯罪に対する対応策として事業を実施する。						
	総事業費（千円）	258,057	本年度事業費（千円）	56,385	交付金額（千円）	23,479	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	防犯カメラ設置事業	交付対象	盗難などの犯罪や事故を未然に防止し、安全安心なまちづくりを推進する。		設置箇所：JR馬堀駅1台、JR千代川駅1台		
	不法投棄対策事業	交付対象	不法投棄の未然防止及び不法投棄物の早期撤去。		不法投棄物処理件数79件		
住民協働事業	セーフコミュニティ推進事業（総括）	交付対象	事故やけがは偶然に起こるものではなく、予防することができるという理念のもと、地域住民と行政などの協働により、誰もが安全に安心して暮らせるまちづくりを推進する。		セーフコミュニティフォーラム～関西セッション～の開催 亀岡署管内での交通死亡事故「0」が500日以上継続		
	インターナショナルセーフスクール推進事業	交付対象	ISSの活動を通して誰もが安全に、安心して過ごせる学校・保育所づくりを推進する。		ISS導入施設 10カ所 (小学校1カ所、民間保育園1カ所、市立保育所8カ所)		
	学校安全対策員配置事業	交付対象	児童生徒の安全確保のため、学校安全対策協力員（来校者受付等）を配置する。		学校安全対策協力員設置校：小学校18校、中学校8校		
	子どもを守る安全向上事業	交付対象	学校におけるISS活動を通して、交通安全意識の向上と安全な教育環境づくりを推進する。		学校遊具等保守点検：小学校18校 点検箇所：175カ所		
	公衆街路灯助成金	交付対象	安全・安心な生活環境の整備促進を図るため、公衆街路灯電気代の助成を実施した。		8,715灯の電気代助成金		
成果指標①	成果指標の目標数値	平成27年度インターナショナルセーフスクール（ISS）のWHOの認証に向けた継続した取り組み		成果指標の実績値（H27年3月31日時点）	ISS導入施設 10カ所 (小学校1カ所、民間保育園1カ所、市立保育所8カ所)		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	現在これらの小学校・保育所(園)は、世界基準の安全安心を獲得するためISSの8つの指標達成に向けてチャレンジしており、平成27年中にWHOの認証取得を目標として順調に取り組んでる。ISS活動を通して、幼少期からの安全・安心への意識を高めることができた。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

成果指標 ②	成果指標の目標数値	犯罪発生の抑制 (街頭犯罪認知件数 H21:513件 → H27減少)		成果指標の実績値 (H27年3月31日時点)	平成26年度街頭犯罪認知件数：307件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	防犯カメラの設置等の取り組みにより、盗難などの犯罪や事故を未然に防止することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標 ③	成果指標の目標数値	防犯カメラ設置個所の増設 (防犯カメラ設置数 H24:5台 → H26増設)		成果指標の実績値 (H27年3月31日時点)	平成26年度防犯カメラ設置数：2台
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	市民が安心して暮らせる犯罪や暴力のない安全で住みよいまちづくりの推進に努めた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	安全・安心のまちづくりを市民との協働により実現していくため、より多くの市民、地区等がセーフコミュニティの推進に参画する仕組みづくりを構築運営し、地域課題の解決に向けた活動をさらに進めている。今年度も子どもや高齢者の事故やけが、また虐待や自殺、さらには犯罪や自然災害など、地域社会における安全・安心をめぐるさまざまな課題や不安に関わって、これらの問題を原因とする不慮の事故の予防や犯罪に対する対応策として事業を実施した結果、街頭犯罪認知件数の減少を達成することができた。また、平成27年度インターナショナルセーフスクール（ISS）のWHOの認証に向けた継続した取り組みにより、安全・安心への意識を高めることができた。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	セーフコミュニティ活動（交通安全や防犯対策等）を通じて、京都府や京都府警、京都中部広域消防組合とより深い連携体制を構築することができた。			
	住民の自治意識を高める成果	より多くの市民、地区がセーフコミュニティの推進に参画する仕組みづくりを行い、モデル地区自治会での活動を自治会単位で推進し、地域活動を展開した。			
	リーディング・モデル成果	亀岡市が国内初のセーフコミュニティ認証を取得した後、国内では新たな認証自治体が次々と誕生している。亀岡での活動やその経験等を全国へ発信することで、亀岡市のセーフコミュニティの取り組みがリーディングモデルとしての役割を果たしている。			
	広域的波及成果	平成26年度は8団体（過去実績数34団体）をセーフコミュニティの視察で受け入れ、現在まで37都道府県から視察があった。セーフコミュニティ活動に取り組む自治体だけでなく、日本全国に取り組みが波及している。			

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	亀岡市居心地向上プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市の人口は、平成13年をピークとする横ばいから微減傾向に転じ、少子高齢化が進展している。このため、これまでの人口増加を前提とした地域社会や経済システムのあり方について見直しを行い、生活の質を高めるための取り組み、そして将来にわたって安全・安心な生活を継続して営むことのできる地域社会を構築していくことが大きな課題となっている。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもや子育て世帯が暮らしやすく、また、子どもから高齢者まで誰もが生涯を笑顔で過ごせる定住都市の理想を実現していくため、温もりを感じられる住み良さをまちぐるみで創造する。また、地域で支え合う環境づくりを進め、福祉と介護等の連携を図る。							
	総事業費（千円）	888,319	本年度事業費（千円）	123,729	交付金額（千円）	50,461		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	公立保育所ISS推進事業	交付対象	公立保育所におけるハイリスク個所の点検、修繕及び安全確保のための施設整備を行うことで、安全・安心な保育所づくりを推進する。			公立保育所のハイリスク個所の修繕実施（8園・34カ所）		
	民間保育園施設運営費支援事業	交付対象	保育を委託している民間保育園7園に対し、健全運営を図るため施設運営費に対して支援を行う。			民間保育園7園に対する運営補助		
住民協働事業	福祉コミュニティづくり支援事業	交付対象	地域福祉の推進を図るため、地域での助け合い・支え合いの実践活動を行う福祉コミュニティづくりの結成・活動に対して支援を行う。			平成26年度地区社協12カ所 地域福祉推進大会（市民福祉のつどい）に対する運営補助		
	生きる喜びを贈る敬老事業	交付対象	高齢者の交流や社会参加を促進するため、地域の敬老事業に対して支援を行う。			各自治会・老健施設で独自に実施される敬老会事業への支援（32実施主体、対象者10,286人）		
成果指標①	成果指標の目標数値	地区社協設立（H27 11カ所）、児童の病院受診件数（H27 減少）、保育所の入所児童数（待機なしを維持）、グループホーム、ケアホーム設置数（H27 20カ所）、介護保険地域密着型サービス事業所数（H27 16事業所）、		成果指標の実績値（平成27年3月31日時点）		地区社協設立（12カ所）、児童の病院受診件数（微増）、保育所の入所児童数（待機なしを維持）、グループホーム、ケアホーム設置数（H27 23カ所）、介護保険地域密着型サービス事業所数（14事業所）		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	各数値目標の達成に向けて、推進しているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）				（時期）	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p>	<p>公立保育所における保育施設環境の充実を図るとともに、民間保育園施設運営を支援することで、安全で安心して過ごせる保育環境を整備し、若い世代が夢を持って子どもを産み育てられる環境づくりを進めることができました。また、地域福祉の推進と地域コミュニティ活動を支援することで、「健康で元気あふれるまちづくり」を推進することができた。</p>	
<p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>各自治会や地域住民と連携を図ることで、市民一人ひとりの地域活動に対する意識が高まり、「健康で元気あふれるまちづくり」につながった。また、福祉コミュニティづくりや敬老事業を支援することで、地域福祉の促進や地域コミュニティ活動の活性化につながった。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>本市が新たに取り組む国際・セーフスクール（ISS）認証取得につながる事業として、公立保育所において外傷の頻度と原因を分析し、予防策を講じることで安全で安心して過ごせる保育所づくりを進めることができた。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	「かめおかっ子」育成プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	学校教育	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	学校教育・社会教育・人権教育などの教育ニーズが多種多様化している中、中・長期的にこれからの社会の姿を見据えながら、地域の実情に応じた教育を推進していくことが重要視されている。学校教育においては、自ら学び、考え、主体的に判断し、行動できる児童生徒を育成するため、一人ひとりの個性と学力を伸ばすとともに、時代の要請に対応した教育内容の充実に向けた取り組みが必要となっている。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもたちが生きていく上で必要な基礎的・基本的な力を身につけ、問題をよりよく解決する資質や能力などの「質の高い学力」の育成と、豊かな人間性を育む「心の教育」の充実に向けて、学校、家庭、地域社会が連携した取り組みを進めることにより、本市の教育が目指す子ども像の実現を図る。							
	総事業費（千円）	22,479	本年度事業費（千円）	3,282	交付金額（千円）	1,633		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	生きる力を育む開かれた学校づくり推進事業	交付対象	学校や地域の実情に応じた学校づくりを推進するため、各学校の創意工夫で特色ある学校づくりに対する取り組みを促進する。			取組実績校：小学校18校、中学校8校		
	ふるさと学習推進事業	交付対象	ふるさと亀岡への愛着や誇りを育むため、亀岡の歴史や文化、自然を生かしたふるさと学習を推進する。			取組実績校：小学校18校、中学校8校		
	ブックスタート事業	交付対象	赤ちゃんと保護者に絵本を通じた心触れ合う楽しい体験と一緒に、赤ちゃん絵本を1冊贈るなど「ブックスタート事業」の充実を図る。			ブックスタート事業24回、対象者へ679冊配布（配布対象者：11カ月検診対象乳児親子）		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	ふるさと学習事例報告集 小学校18校、中学校8校（ふるさと学習「かめおか学」取組事例）		成果指標の実績値（平成27年3月31日時点）		取組実績校：小学校18校、中学校8校		
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	ふるさと学習「かめおか学」の取り組みを通して、子どもたちが地域の身近な題材からふるさとを学び、ふるさとへの思いを深めていくことができているため。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	小・中学校9年間の学習において、ふるさと学習「かめおか学」として系統的・継続的な取り組みを行う中で、子どもたちが地域の身近な題材からふるさとを学び、ふるさとへの思いを深めていくことで、あらためて亀岡の歴史や文化、自然について考える機会が増えるなど体験的活動事業の促進につながった。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

本プロジェクトに 対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	学校、家庭、地域社会が連携した取り組みを進めることにより、子どもたちが生きていく上で必要な基礎的・基本的な力を身に付け、問題をよりよく解決する資質などの「質の高い学力」の育成と豊かな人間性を育む「心の教育」の充実が図ることができた。
	その他の成果	亀岡の歴史や文化、自然などを学ぶことにより、ふるさと亀岡への愛着を高めるとともに、児童自らが学ぶ意欲を育むことができた。また、幼児期より読み聞かせ事業を実施することで、家庭での親子読書の推進につなげている。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	にぎわいまちづくり創出プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	地域のにぎわい創出	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	豊かな自然や観光資源に恵まれた亀岡は、京都第二外環状道路（にそと）が開通し、高速道路ネットワークも充実するなど、観光誘客に有利な条件を備えている。しかし、長年にわたり「保津川下り」「トロッコ列車」「湯の花温泉」のいわゆる三大観光に依存する状況が続いていることから、今後は、三大観光を発展させつつ、新たな観光資源や特産品等の開発、地域ブランドの確立等図ることで、農業、商・工業、観光産業などの連携・交流による産業振興を進める。							
プロジェクトの目的及び概要	三大観光をはじめ、自然や歴史資源の発掘、見直しを行い観光に対する市民意識の啓発と市民や民間団体による主体的な取り組みを促進し、継続性、発展性がある観光振興を図る。							
	総事業費（千円）	130,746	本年度事業費（千円）	34,096	交付金額（千円）	10,086		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	JR交通広告観光によるPR事業	交付対象	JR沿線に亀岡をPRする交通広告を掲載し、観光入り込み客の増加を図る。			JR車両への広告媒体の掲示（京都線、神戸線等）及び駅構内でのデジタル広告の掲載等		
	湯の花温泉環境施設整備補助事業	交付対象	湯の花温泉の観光地として環境整備等			湯の花温泉シンボル行灯の設置等		
	コミュニティバス運行事業	交付対象	JR亀岡駅を起点としてその周辺に存在する公共施設などを公共交通のネットワークで結びバスの総合的な利用促進を図るとともに市内観光としての利用促進も図る。			コミュニティバス運行业務委託		
	史跡丹波国分寺跡公有化事業	交付対象	史跡丹波国分寺跡地の公有化を図ることで、史跡公園として保存活用を行う。			史跡丹波国分寺跡地整備に伴う土地購入 1筆 1,014㎡		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	観光客増 平成25年1月～12月 2,268,619人			成果指標の実績値 (H26年12月31日時点)		平成26年1月～12月 2,408,467人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	観光イベント等への観光入込客増により観光客の増加				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	コミュニティバス乗車人数 (H22実績:93,550人→H27:97,000人)			成果指標の実績値 (H27年3月31日時点)		100,766人	
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	亀岡駅周辺の市街地を公共交通で結ぶことで市民の移動手段を確保し、JRや路線バスと連携したダイヤ編成等、一層の利便性向上を図った。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>三大観光をはじめ、自然や歴史資源の発掘、見直しを行い、観光に対する市民意識の啓発が図れ多くの観光客が訪れた。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>亀岡祭や平和祭花火大会など亀岡のイベントとの連携を図ることにより、観光客の入込客増加につなげた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>自治会、地域住民、協議会などからの意見が反映された取り組みのため、自治意識が高まり、地域活動につながる。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>史跡丹波国分寺跡公有化事業の実施により、既公有地をはじめ亀岡市内の史跡・文化等の保存活用に努めた。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>観光客増加に伴い、入湯税等の税収増加などの増加が見込める。</p>
	<p>その他の成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡の持つ歴史や文化、自然の特性を活かすことができた。 ・ 市民の重要な生活交通の維持確保に努めるとともに、市内観光としての利用促進に努めた。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	がんばる元気農業プロジェクト		実施期間	H23年度～H27年度	テーマ	農業振興	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	府内でも有数の広大な農地を有することから、京都の穀倉地として高い農業生産力を誇ってきたところであるが、全国の農村と同様に、農業従事者の減少や高齢化、担い手等の後継者不足、耕作放棄地の増加、農産物価格の下落による農業所得の低下など多くの課題を抱えている。今後は、農業の担い手の育成と地域の実態に応じた営農システムの確立、担い手への農地集積などを行うとともに、国土保全の観点による農地の保全や環境への負荷を軽減した循環型農業の推進、農業・農村や食への理解を深める多様な取り組みが必要である。							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業従事者のコスト削減のための助成を行い、農業所得の低下を防ぐ。 ・ 担い手不足解消のため、担い手育成のための事業を促進する。 ・ 生産基盤を整備することにより、農作物の生産拡大を図る。 							
	総事業費（千円）	56,085	本年度事業費（千円）	7,932	交付金額（千円）	3,966		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
住民協働事業	安全・安心のエコ農業支援事業	交付対象	エコファーマーを支援するとともに、市内で製造された畜産堆肥の施用に対して助成を行うことで、安全・安心な農産物の生産を支援する。			営農組合32組合等への助成		
成果指標①	成果指標の目標数値	さくら有機及び炭堆肥販売量の増加		成果指標の実績値（平成26年度）		販売量3,887.6m ³ （H25 4,853m ³ ）		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	さくら有機及び炭堆肥の推進により、安全で環境にも配慮した農作物の促進を図った。肥料は毎年やると田畑が肥えすぎるため、必ずしも増加するとは限らないが、炭堆肥等を使用するカーボンマイナスプロジェクト（クールベジタブル）の会員数が増加（H25→21人、H26→25人）していることから、成果指数の達成状況は○とした。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		
成果指標②	成果指標の目標数値	さくら有機及び炭堆肥施用量の増加		成果指標の実績値（平成26年度）		施用量3,887.6m ³ （H25 4,853m ³ ）		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	さくら有機及び炭堆肥の推進により、安全で環境にも配慮した農作物の促進を図った。肥料は毎年やると田畑が肥えすぎるため、必ずしも増加するとは限らないが、炭堆肥等を使用するカーボンマイナスプロジェクト（クールベジタブル）の会員数が増加（H25→21人、H26→25人）していることから、成果指数の達成状況は○とした。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>市内農業者が安全・安心な農産物を生産し、食の安全・安心を向上させるとともに、自然と調和した農業を推進した。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>市民へ安全・安心な農産物を提供することにより、新たな担い手の増加及び特産品の振興を図ることができる。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>安全・安心のエコ農業の推進を図ることで、広く一般市民にとって利用しやすくすることにより、一層の販売拡大が期待できる。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

プロジェクト名	「協働のまち 亀岡づくり」プロジェクト		実施期間	H22年度～H27年度	テーマ	市民協働	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	亀岡市においては、多様な市民活動が展開され、協働の取り組みも広がりつつあるが、その一方でまちづくりに対する意識が多様化し、居住している地域やその取組年数などによって活動力に大きな違いが見受けられる。そして、市民活動に対してすべての人が認識しておらず、市民活動団体の人材、資金、情報発信等の不足が課題となっており、それぞれの組織が組織体制の強化連携を求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	「協働のまち 亀岡づくり」を目指し、「亀岡市まちづくり協働推進指針」に基づき実施計画の着実な推進を図るため、市民と行政とが協働し、今日まで培ってきた生涯学習のまちづくりを土台として、さまざまな社会の生活環境や学習環境などの整備・充実を図ることを目的とする。							
	総事業費（千円）	62,634	本年度事業費（千円）	7,451	交付金額（千円）	3,725		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	市民活動中間支援機能充実事業	交付対象	かめおか市民活動推進センター等運営体制強化により、団体間のネットワークの強化促進、協働のまちづくり情報の発信など当該センターの機能強化を図り、NPOや市民活動団体等が参画・利用しやすい仕組みづくりを推進する。			団体間のネットワーク強化推進と協働まちづくり情報の発信		
	コミュニティ推進事業	交付対象	生涯学習施設（自治会館等）整備事業補助、市広報掲示板設置委託			生涯学習施設整備事業補助 改築1カ所 改修8カ所		
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	市民活動中間支援機能充実に向けた相談件数 60件（H25 55件）		成果指標の実績値（H27年3月31日時点）		相談件数 50件（H25 55件）		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	H26は4～6月について相談事業を休止していたため、9カ月の稼働であったことから、H26実績を12カ月換算（66件）し、実質の稼働期間では増加となるため、成果指数の達成状況は○とした。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名： 亀岡市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>※未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>かめおか市民活動推進センターの運営体制の強化を図ることで、情報発信拠点・コーディネート拠点として、NPO法人・市民団体等に対する相談や支援により、市民活動の質の向上・活性化に寄与し、また、登録団体の交流の場として団体間・住民間の連携強化に繋がった。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>かめおか市民活動推進センターの機能強化とともに、生涯学習施設のギャラリーかめおか等での生涯学習環境の充実や各種生涯学習講座の実施により、市民の生涯学習・市民活動の活性化を図ることができた。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>各地域の生涯学習施設であり、住民活動の拠点である集会所、公民館の整備、また、地域の行事等を住民に周知する掲示板の整備を行うことで、より一層の住民活動の活性化を達成するとともに、地域のつながり、連携を強化し、住民の自治意識の向上に寄与することができた。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>NPOや市民活動団体の交流促進を図ることで、地域間の交流へと繋がり、市全体にわたる市民活動の活性化が期待できる。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。